

【役場保健師】

健康戦隊 守るンジャー

問合せ先 東栄保健福祉センター 福祉課 ☎76・1815

Vol.84



生きる選択

3月は自殺対策強化月間です。自殺対策とは、生きることの包括的支援という浸透と、援助を求めるに至った悩みを抱えた人が、必要な支援を受けられるようにすることとされています。

問題が複雑化・複合化

私たちは東栄町で暮らし、生活の場（隣近所、組や地区、学校、職場、家庭など）において複雑化・複合化した様々な出来事に遭遇します。「自殺は、その多くが追い込まれた末の死である」と言われ、「平均4つの要因（問題）が連鎖する中で自殺が起きている」とする調査があります。

生活に身近な問題

追い込まれるまでには、子育て・進路・介護などの不安、頼れる人がいない、不登校・ひきこもり・いじめ・事業不振、精神疾患・過労・多重債務・失業、さらにアルコール等の依存・病苦・社会的孤立、うつ状態・希死念慮など、健康に関すること以外にも、学校、働くこと、経済的なこと、家庭のことなど、生活に身近なところで起きる問題も含まれます。そのため、自殺対策は、生きることの包括的支援であると言われています。

困っている時に、助けを求める

東栄中学校の3年生は、SOSの出

し方についての授業を受けています。

中学卒業後の新しい生活環境において、子どもたちが様々な出来事に遭遇することが想定されます。困った時・悩んだときにSOSを出すこと、お友達が困っている時、悩んでいる時には「どうしたの？」と声をかけようと、ゲートキーパーのことも学んでいます。

命の門番、ゲートキーパー

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る、命の門番です。

気づき…家族や仲間の変化に気づいて、声をかける

傾聴…本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

つなぎ…早めに専門家に相談するように促す

見守り…温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

町では、ホームページに「知らせてほしい、心のSOS―相談窓口のご案内―」を掲載しています。また、福祉課では、ゲートキーパーの出前講座の開催に取り組んでいます。お気軽にご相談ください。

参考：内閣府「ゲートキーパー養成研修用テキスト」厚生労働省「自殺総合対策大綱」

地域おこし協力隊活動報告

楽しく色塗りしました



地域おこし協力隊1年目の村上浩人です。

普段は「東栄町体験交流館のき山学校」で学校の管理・運営や各種イベントワークショップを開催しています。

東栄町に来てからもうすぐ1年が経ち、地域の方々とも仲良くなさせていただいています。

現在のき山学校では、耐震改修工事が進んでいます。



採用する耐震改修方法への理解を深め、東栄町ならではの個性的な景観づくりを目指して、まちの将来を担う小学5年生の

子どもたち、耐震ブレス（Hすじかい）の色を考



えてもらい、投票を行い、2月9日（日）に「耐震ブレス（Hすじかい）塗装ワークショップ」を実施しました。

子どもたちは服を汚しながらも楽しそうにいました。

4月にはのき山学校の耐震工事事も完了する予定です。

皆さんが気軽に集まれる場所を提供できるように、また地域の皆さんの笑顔が少しでも増やせるよう、これからもイベントを開催していきますので、皆様に楽しんでいただけると幸いです。

問合せ先 東栄町体験交流館のき山学校 ☎76・1722